



## OPRTプレスリリース

平成29年4月21日

### 平成29年度 第1回OPRTセミナー —マグロ資源の新たな管理方式の現状と将来(その2)— 平成29年3月28日のセミナーに続く2回目(最終回)

(一社)責任あるまぐろ漁業推進機構(OPRT)は、下記によりセミナーを開催します。  
先着60名まで応募受付(締切5月19日)。申し込みは、OPRT(人見)までお願いします。  
す。(一般の方も受付。ただし、当日、OPRTの賛助会員へ加入登録をお願いします。年会費：個人千円、法人1万円)

#### 記

1. 日 時：平成29年5月23日(火) 13:30~15:30
2. 場 所：大日本水産会 大会議室(港区赤坂1-9-13 三会堂ビル8階)
3. 趣 旨：

かつお・まぐろ関連地域漁業管理機関(RFMO)の中には、科学小委員会からの資源評価結果を基に、委員会で諸状況を勘案して総許容漁獲量(TAC)を決定する従来の方式から、管理方策(Management Strategy)、管理方式(Management Procedure)などを定め

- ① 予め決定された方式で、科学小委の資源評価から、一定の算出方式によりTACを割出す方式、
- ② 将来の資源評価が悪化を示した場合、関連漁業の漁獲量を予め決定された方式で削減する措置(HCRs(漁獲管理規則))

等の方式の導入の検討・実施をしている機関がでてきています。

前回(3月28日)セミナーにおいて、ア)これらの管理方式についての基本的な概念、並びにイ)先行事例としてみなみまぐろ保存委員会(CCSBT)の状況を紹介頂きました。

これに続くものとして、今回は、ア)中西部太平洋まぐろ類委員会(WCPFC)でのメバチを含む熱帯カツオマグロの保存管理措置の検討状況と今後想定される議論について、並びにイ)各RFMOにおけるMSE(管理方策評価)の検討状況比較について説明を受けることといたします。

#### 4. 演題・講師：

第1部 WCPFC(中西部太平洋)におけるメバチ、キハダ及びカツオに関するHCR(漁獲制御ルール)の検討状況と今後想定される議論について

国立研究開発法人 水産研究・教育機構

国際水産資源研究所 かつお・まぐろ資源部 部長 西田 宏 氏

第2部 各RFMOにおけるMSE(管理方策評価)の検討状況比較について

同研究所 同部 くらまぐろ資源グループ長 中塚 周哉 氏

(問合せ先) (一社)責任あるまぐろ漁業推進機構

事務局長：田端 事業部長：人見

T E L : 03-3568-6388 F A X : 3568-6389

Eメール：maguro@opr.or.jp